

基本コンセプト

「人，交通，自然が気持ちよく
循環する『都市の庭』」

1. 「都市の庭」としての駅・広場

信濃川，日本海，鳥屋野潟など雄大な自然景観を活かし，人々や交通が気持ちよく循環し，健康的で活気に溢れた魅力ある新潟市の顔。

2. 南北の都市軸

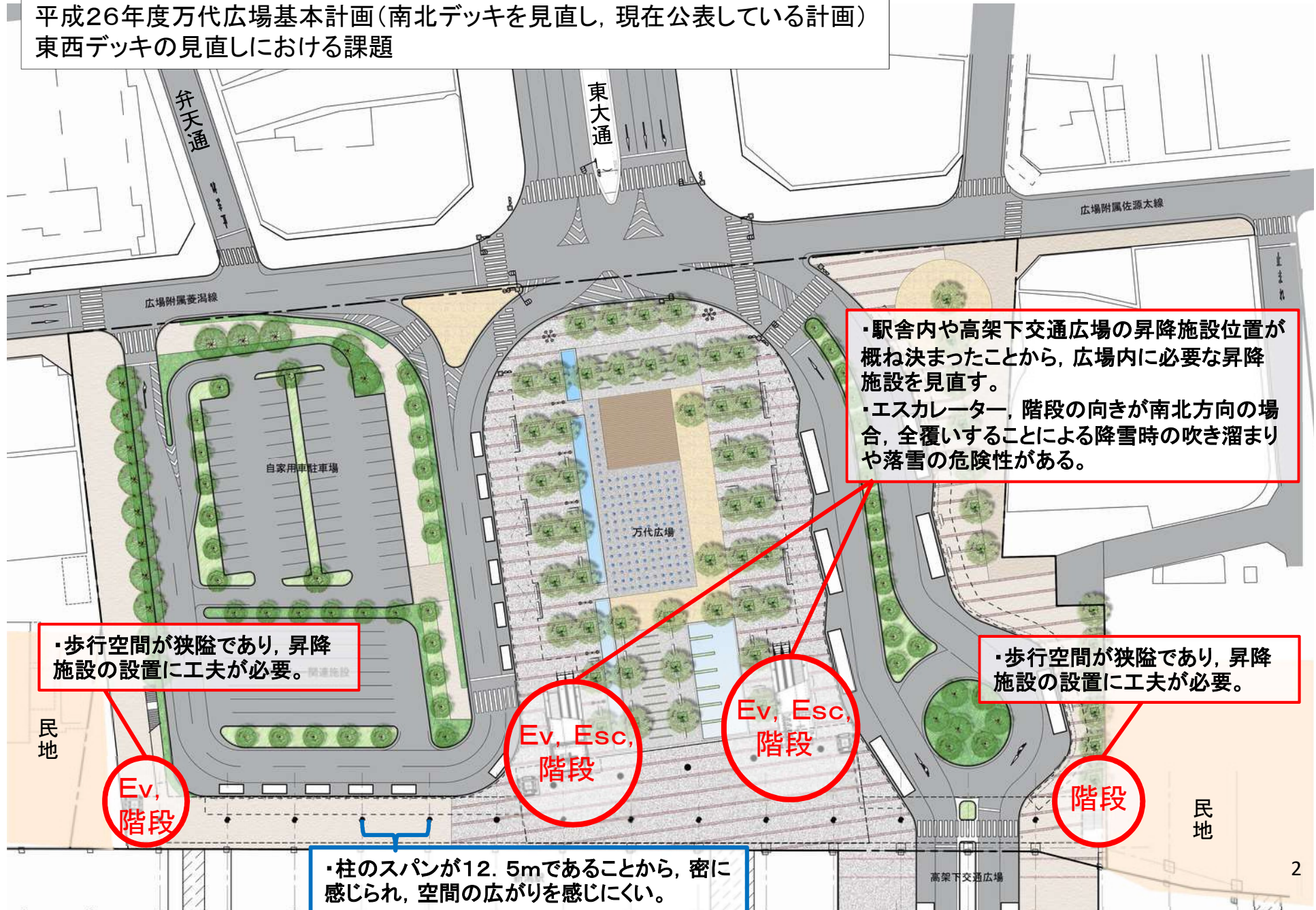
萬代橋や鳥屋野潟方面を結ぶ「都市の軸」を南北の広場でつなぎ，鉄道と車・歩行者の連携，周辺市街地との連続性により，永く親しまれる広場。

3. 人を癒し，賑わいの絶えないプラザ
(南北の歩行者広場)

歩行者を癒すための「水」と「緑」と「光」に満ちた空間，かつ，市民に開放され様々なイベントに対応できる賑わいのある空間。

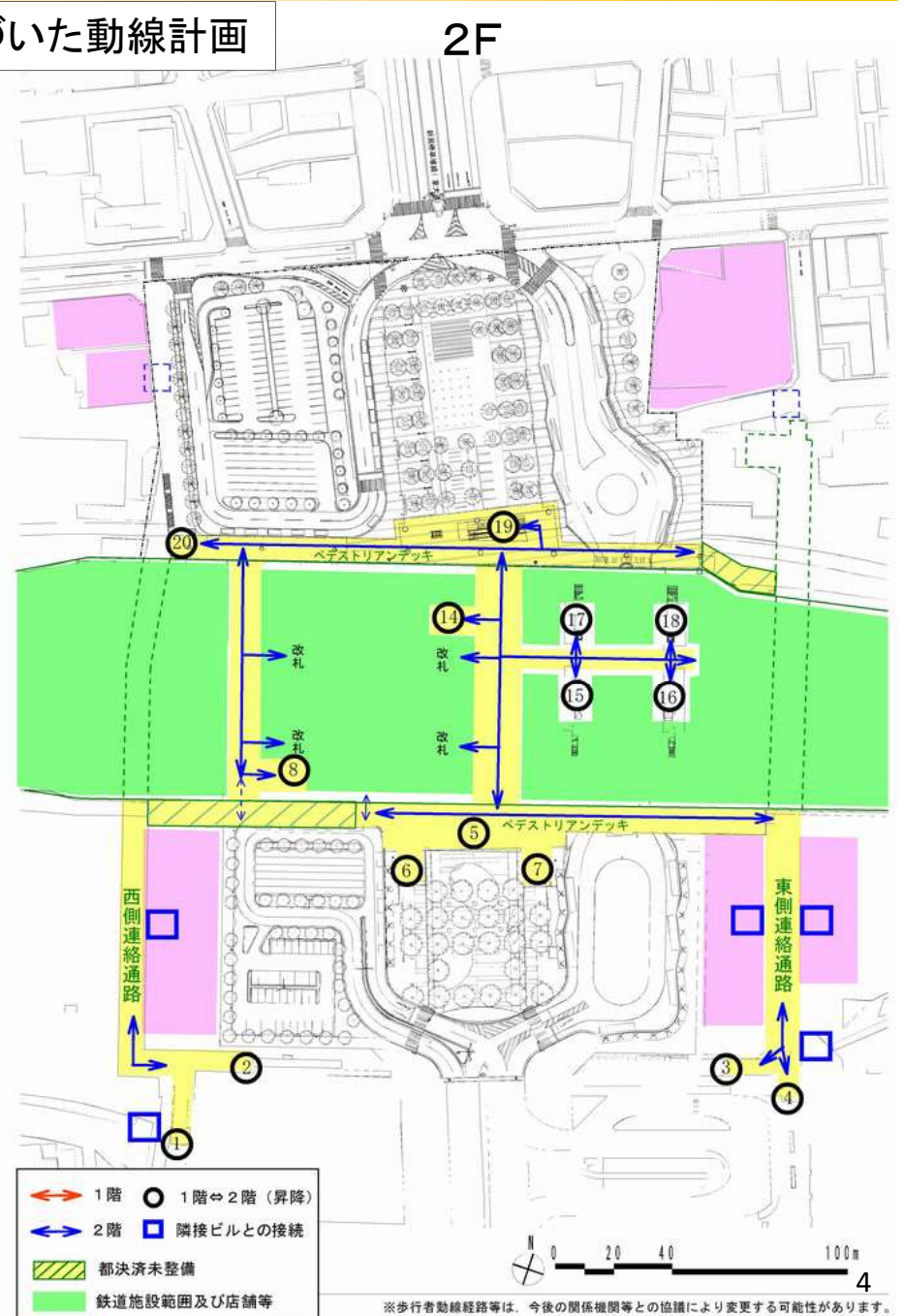
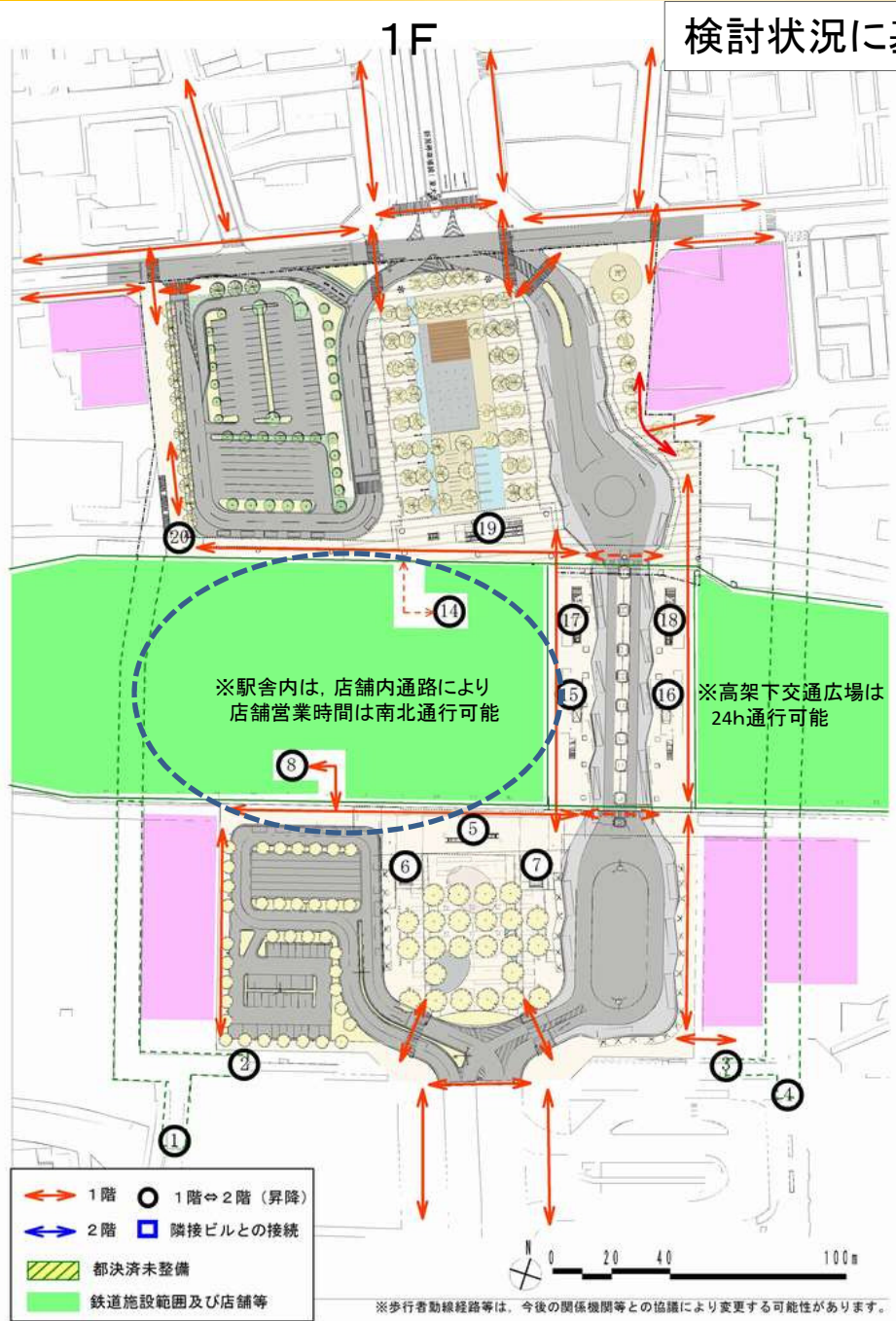


平成26年度万代広場基本計画(南北デッキを見直し, 現在公表している計画)
東西デッキの見直しにおける課題



東西デッキの見直し検討状況における1つの案





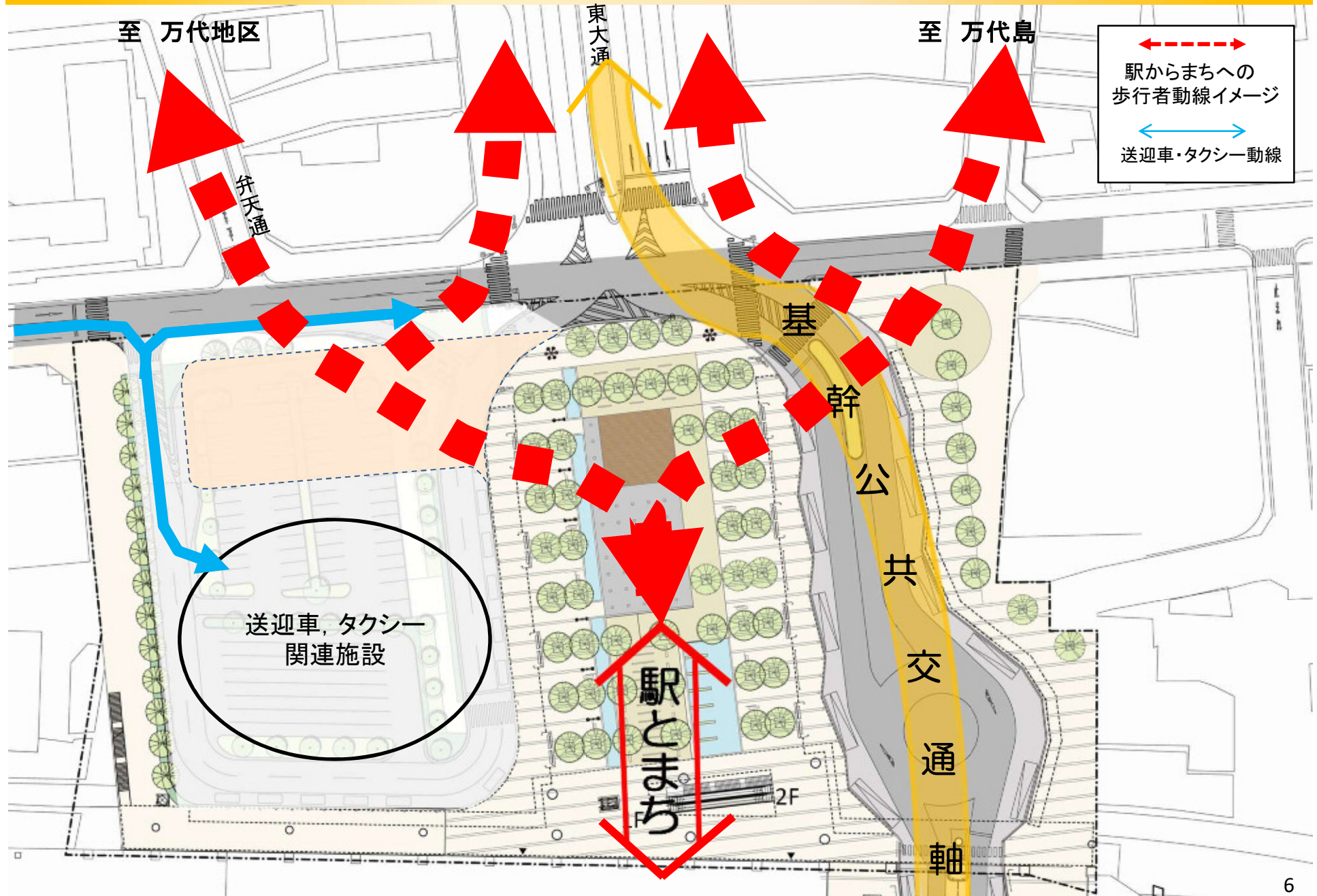
＜駅からまちへの歩行者動線の考え方＞
＜駅前広場における交通機能，施設配置等＞

- 駅から万代地区や万代島方面へ自然と足が向く仕掛け
- 送迎車・タクシー関連施設の一部を，中央広場と一体となる空間（例えば半島状）とし，連続した動線を確保



＜中央広場から連続した空間の役割＞

- 駅から，または弁天通からのランドマーク（目印）となる空間的役割
- 駅とまちをつなぐ動線上のノード（結節点，節目）としての空間的役割



※計画の見直しにおいては、今後、交通事業者や関係機関との協議が必要となります。

＜万代広場の交通機能の考え方＞

- ・新潟の顔, 新潟らしさ
- ・来街者へのおでむかえのための空間を充実

【送迎車整理場について】

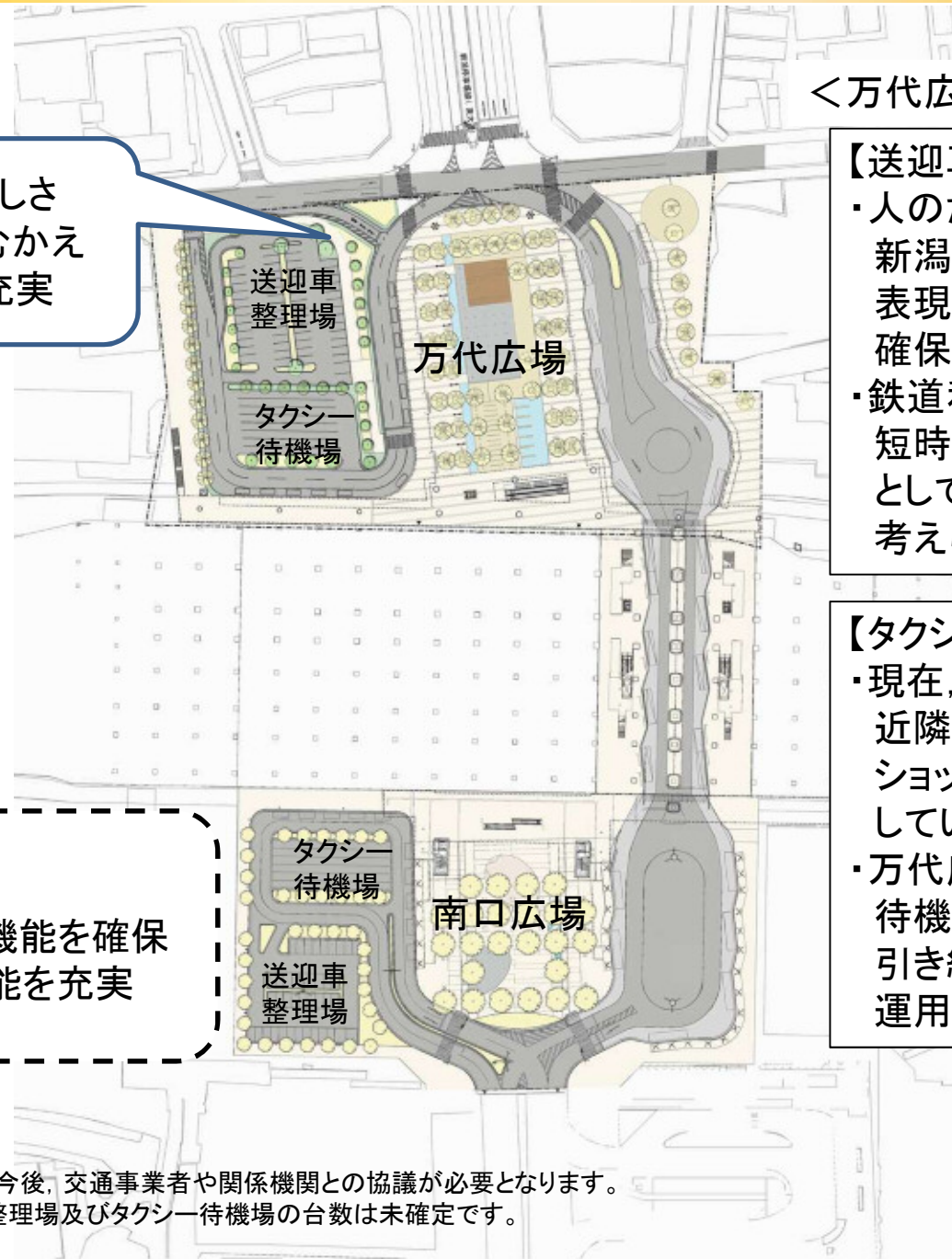
- ・人のためのスペースや新潟の顔として, 新潟らしさを表現するためのスペースを確保することを優先。
- ・鉄道利用者送迎用の短時間駐車のためのスペースとしていくことが望ましいと考えられる。

【タクシー待機場について】

- ・現在, 万代広場は新潟駅の近隣に第2待機場を設け, ショットガン方式による運用をしている。
- ・万代広場におけるタクシー待機場は必要最小限とし, 引き続き, 第2待機場を用いた運用が望ましいと考えられる。

【南口広場】

- ・郊外からの送迎機能を確保
- ・広域的な利用機能を充実



※計画の見直しにおいては, 今後, 交通事業者や関係機関との協議が必要となります。
 ※万代広場における送迎車整理場及びタクシー待機場の台数は未確定です。

歩きたくなる空間となるような道路空間の構成は

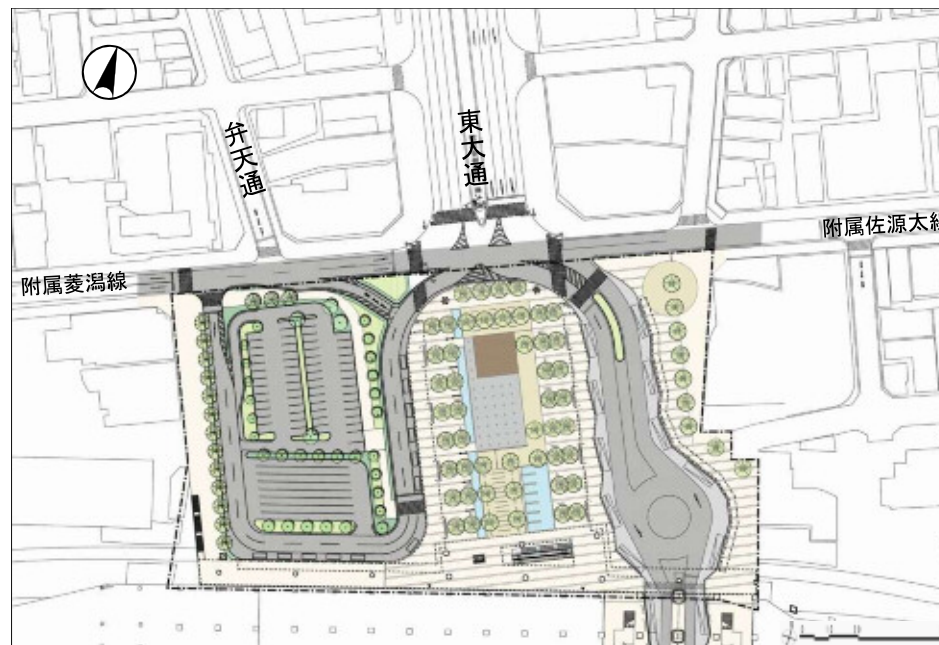
例：車線減少をし、空間の有効活用 など

<類似駅前との比較>

(参考) 姫路駅前

平面比較

新潟駅前



	比較項目	
大手前通 幅員50m(片側2~3車線)	目抜き通り	東大通 幅員50m(片側4車線)
通過交通を排除(トランジットモール化)	一般車	附属線による通過交通がある
中央分離帯樹木なし, 両側歩道樹木2列	植栽	中央分離帯樹木1列, 両側歩道樹木1列
姫路駅から1.4km先の姫路城まで見通せる	眺望	新潟駅から0.6km地点まで見通せる

(参考) 姫路駅前

眺望比較

新潟駅前



	比較項目	
大手前通 幅員50m(片側2~3車線) 通過交通を排除(トランジットモール化)	目抜き通り 一般車	東大通 幅員50m(片側4車線) 附属線による通過交通がある
中央分離帯樹木なし, 両側歩道樹木2列	植栽	中央分離帯樹木1列, 両側歩道樹木1列
姫路駅から1.4km先の姫路城まで見通せる	眺望	新潟駅から0.6km地点まで見通せる